

火
ーク&トーク

おおさか発・プラスアルファ

ご意見、ご感想は〒530-8251
毎日新聞「プラスα面トーク&ト
ーク」係。郵便、ファクス(06・6346
・8104)、メール(o.talk-news
@mainichi.co.jp)へ。

聞きたい

静岡大学
人文学部教授

楊海英さん

ヤン・ハイイン 1964年内モンゴル自治区オルドス生まれ。北京第二外国语学院日本語科卒業。89年に来日し、国立民族学博物館・総合研究大学院大学博士課程修了。博士(文学)の2年、静岡大学人文学部社会科学科文化人類学講座教授。専門はモンゴル学。00年に日本国籍を取得。日本名は大野旭。昨年、文化大革命期の死者5万人ともいわれるモンゴル民族への虐待を詳述した墓碑なき草原上下巻(岩波書店)を出した。

冊封と領土は別

に過ぎませんでした。この体制は中華人民共和国にも引き継がれます。つまり漢民族以外の満州族、ウイグル族、チベット族、そして私のようなモンゴル族は、支配される立場です。ラサやウルムチの暴動で日本でも知られるようになりましたが、民族独自の文化や言葉を守ろうと

「官製」の危うさ

「反日デモで『琉球回収』の横断幕が掲げられていました。日本は驚くしかありません。清朝までの歴代中国は冊封体制をとり、琉球を含めた周辺諸国に中国風の王号を与

◆愛国主義教育には「敵」が必要。日本の近代史が中国の敵とされるわけですから、反日教育です。中国のテレビでは「侵略者日本軍」を描いた映画や映像が連日のように流され、新聞には「抗日の英雄」の話が出ています。一般の人が公正で偏らない議論をするという意味の公論が中国にはないことに留意しなければなりません。一党独裁政権では、多様な見方、多様な思想、多様な歴史観の表現は許されません。すべて愛国主義という官製のナショナリズムを中心に思考が回転しているのです。

ノール平和賞を受賞した劉曉波さんは「両刃の毒剣―中国のナショナリズムを批判する」という本でこう書いています。「中国共産党は意図的に反日をあおり、自身が蒋介石軍との戦いを優先させ、抗日しなかった歴史を隠す」として、過度のナショナリズムはいつかは必ず共産党自身に向けられるだろう。いま、その過度のナショナリズムが噴火している最中に、劉さんのように冷静に政治改革を訴える人物は投獄され、ノール平和賞を受賞した。まさにナショナリズムという自らまいた種が大木になろうとしている時期の中国の姿なのです。

中国のナショナリズム

「官製」の危うさ

【編集委員・鈴木敬吾】

いびつな国家観

中国で高まるナショナリズムをどう理解すればよいのでしょうか。

◆最初に指摘しておきたいのは、問題となっているナショナリズムは「中国国民のものではないこと」です。

近代中国の歩みは中華民国に始まり、来年は中華民国を生んだ辛亥革命100周年です。革命を主導した孫文の主張は「漢族(龍種)駆逐、中華回復」でした。漢族が支配する清朝を倒し、漢族が世界の中心にある「中華」を回復する漢民族ナショナリズムです。「五族共和」も唱えられましたが、スローガン

する人は「民族分裂主義者」として処罰されるのです。各地でデモをしているのは漢民族です。他民族は彼らの凶暴なナショナリズムがいつ自分たちに向けられるかと恐れられている。他民族を支配しながら主張されるナショナリズム。当人たちは、そのいびつさに気がついていない。

えて、名義的に中華の権威を認めさせていた。これが「中華思想」です。周辺諸国はむしろ通商の実利のためにそれを受け入れてきました。冊封体制と領土は無関係です。琉球王が中国の冊封を受けていたからといって、領土を主張する根拠にはなりません。ところが、経済発展によっ

ズムが醸成されました。「琉球回収」だけでなく、白龍潭大相撲力士の出身国、モンゴル国を指す「モンゴル回収」まで主張されています。冊封を根拠にするならば、東アジア諸国の大半の「回収」を主張できるのです。

日本人の対中国感情も悪化しています。現状をどう見ればよいのでしょうか。

いつかは自身に

五族共和 1912年に中華民国が成立した際の民族政策スローガン。主な民族である漢族、満州族、モンゴル族、ウイグル族、チベット族の5族が平等な立場で新共和国建設に当たると唱えられた。しかし、清朝は5族それぞれに別々の政体を認めていたため、モンゴル、ウイグル、チベットは漢族による中華民国の統治に反発、独立を志向した。中華人民共和国は、漢族と55の少数民族からなる「中華民族」が古代からの分割不能な国民であるとの公式見解をとっている。



後藤由樹撮影